

# 事業評価シート（平成26年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	青少年健全育成催事事業		
事業担当	健康・こども部 青少年課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'01	人間力 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	'01	1 いのちを大切にすることをもち、社会性や規範意識を身につける環境をつくる	
根拠法令等			
対象・受益者	青少年	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 青少年(育成)団体】		
目的・目標		事業の概要	
明日を担う青少年が心身ともに健やかに育成されています。		青少年が健やかに成長していくため、親や地域の大人、あるいは青少年同士が交流を深めるとともに、青少年の日頃の活動に対する発表の機会や活躍の場となる各種イベントを実施します。	

## 2. 事業の検証

活動指標	指標名	子ども大会開催地区数			単位	地区
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	28	28	28	28	
	実績	28	28	28		
活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
成果指標	指標名	子ども大会参加率			単位	%
	説明・算定式	市内全児童数に対する参加児童数の割合				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	50	50	50	50	
	実績	44.7	44.6	46.8		
成果指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	：予定どおり					
	遅れている理由					
平成26年度の主な取組と成果						
<p>青少年の健全育成や青少年団体の交流と連携を目的として、子ども大会・成人式・浅間祭・青少年健全育成のつどい・青少年会館自主事業・青少年交流体験事業を開催しました。成人式や青少年健全育成のつどいについて、地元企業の協賛を募る取り組みが定着しました。</p>						
平成26年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	青少年催事は、市民を加えた実行委員会が企画し、運営のほとんどを市民協働で行っています。青少年健全育成を求める社会的要求や、市民に活動・活躍の場を提供する等の観点で、十分必要性があります。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	次世代育成に有効である上、市民協働による本事業の運営は、サービスする側・される側の両面で、市民満足度の向上につながっていることから、有効性は高いと思われます。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	事業の企画運営に青少年を参加させることで健全育成が実現されている上、青少年をはじめとする市民の参加意識の醸成が図られている点から、事業の目的・対象・内容について十分に妥当性があります。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	市民協働や実行委員会委託を活用することで、行政の関与が最小限に抑えられており、効率的な運営が図られています。	高中低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 市民協働という形での実施をより強固にしていくため、常に協働する市民の意見を反映した内容になるように心がけることが必要と考えます。				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		各種イベントの実施	各種イベントの実施	各種イベントの実施	各種イベントの実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	7,580	7,011	6,949	6,246
事業費 (A)		7,580	7,011	6,949	6,246
執行率 (%)		98.72	99.63	98.75	

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成28年度の取組方針</b> 市民協働・市民参画を前提とした事業であるので、より多くの市民に積極的に企画や運営に参加してもらえるようPRに努めます。
<b>課長コメント</b> 各事業とも長く市民に受け入れられてきましたが、各事業の内容がマンネリ化しないよう実行委員会の中で十分に意見交換を行い、市民ニーズを的確に捉えていくことが大事であり、市民との協働による当該事業を現状規模で行っていきます。